

《担当者名》 竹生 礼子 take-r@hoku-iryō-u.ac.jp 川添 恵理子 御厩 美登里 増田 悠佑 中安 隆志 大友 芳恵

【概要】

地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅での看護を総論的に学ぶ。

【学修目標】

1. 在宅看護の特徴を理解するために、在宅看護の歴史や理念、および在宅看護を必要とする社会情勢を学ぶ。
2. 在宅看護を発展させる看護職の役割を理解するために、地域包括ケア、継続看護、多職種との連携、チームアプローチの重要性について学ぶ。
3. 在宅看護の対象者の多様なニーズを学び、療養者及び家族の理解と援助のポイントを理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	概論(1)	在宅看護の理念・目的、在宅看護の特徴	竹生
2	概論(2)	在宅看護活動の歴史の変遷、在宅看護を必要とする社会的背景	竹生
3	概論(3)	在宅で療養する人々を支える諸制度と社会資源、訪問看護制度	竹生
4	概論(4)	在宅療養者の理解の視点 ICFと3つのLife(命・生活・人生)	竹生
5	概論(5)	在宅看護の対象者の特徴	竹生
6	概論(6)	在宅の場における家族のとらえ方	御厩
7	在宅看護と地域包括ケア(1)	療養の場の移行に伴う看護、継続看護マネジメント	川添
8	在宅看護と地域包括ケア(2)	地域包括ケアシステムと多職種連携	川添
9	在宅看護と地域包括ケア(3)	在宅看護とソーシャルワーカーの連携	大友
10	在宅療養者の理解と援助(1)	在宅でエンドオブライフを過ごす療養者の理解と援助	竹生
11	在宅療養者の理解と援助(2)	慢性疾患をもつ在宅療養者の理解と援助	増田
12	在宅療養者の理解と援助(3)	難病をもつ在宅療養者の理解と援助	増田
13	在宅療養者の理解と援助(4)	在宅で療養する小児の理解と援助	高橋美由紀(特別講師)
14	在宅療養者の理解と援助(5)	精神障がいをもつ在宅療養者の理解と援助	中安
15	在宅看護学の総論的まとめ	在宅看護活動のまとめ	竹生

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

在宅ケアに関するレポート10%、定期試験90%

レポートの評価後、コメントを記載し次年度はじめに各学生に返却する。定期試験結果は、評価公表後期限を設けて教員室にて回答を閲覧できるようにする。

【教科書】

櫻井尚子・渡部月子・臺有桂：ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア。メディカ出版、2019

【参考書】

スーディ神埼和代編：在宅看護学講座。ナカニシヤ出版、2012。

押川真喜子監修：写真でわかる訪問看護 訪問看護の世界を写真で学ぶ。インターメディカ、2007。

押川真喜子：在宅で死ぬということ。文春文庫、2005。

柳田邦男・川越厚著：家で生きることの意味 - 在宅ホスピスを選択した人・支えた人、青海社、2005。

中山あゆみ著：病院で死なないという選択 - 在宅・ホスピスを選んだ家族たち、集英社、2005。

【学修の準備】

指定した教科書の該当ページを事前に読んでおくこと（予習45分）。講義で触れた内容について、教科書の該当ページを読んでおく（復習45分）。教科書 にあげた図書を読み、感じたこと、在宅療養を支えるために学びになったことについてレポートを作成する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1 , 4

【実務経験】

竹生礼子（保健師・訪問看護師・介護支援専門員）

川添恵理子（看護師、保健師、訪問看護師、退院調整看護師、介護支援専門員、地域看護専門看護師）

御麻美登里（保健師・訪問看護師）

増田悠佑（病棟・訪問看護師）

中安隆志（精神看護専門看護師・訪問看護師）

大友芳恵（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関・訪問看護事業所・介護施設および行政における実務経験に基づいた教育を行う。